

JAIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2022.Oct Vol.31



23卒学生動向
9月以降の学生の状況と秋冬の学生の支援ポイント

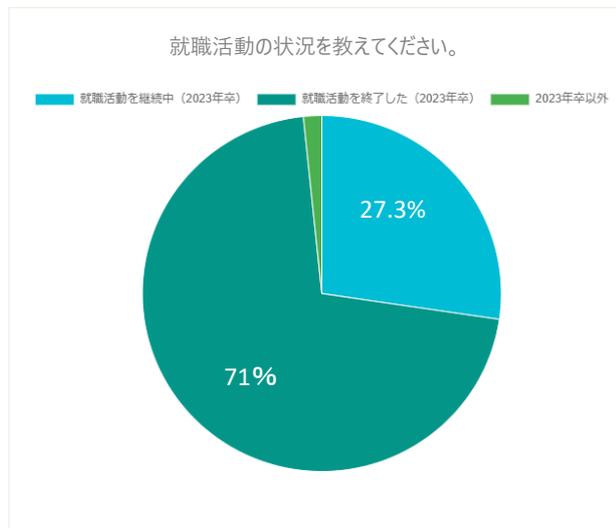
アンケートデータ
Web面接会事前研修アンケート結果からみる学生傾向

9月以降の学生の状況と秋冬の学生の支援ポイント

「リクルート 就職みらい研究所」が実施した学生モニター調査によると、10月1日時点の大学生（大学院生除く）の就職内定率は93.8%となり、9月1日時点から3.0ポイント増加しました。

多くの企業が内定式を行う10月に向けて、9月中は、企業・学生ともに活動が活発になっていました。実際に、弊社で月1回実施している「就活状況アンケート」においても、就職活動を終了したと答える学生は、毎月45～48%ほどで、就職活動継続中の学生と同じくらいの比率になりますが、9月22日～9月27日に実施した同アンケートでは、就職活動を終了した学生が71%となり、8月～9月の間で、他の時期に比べて多くの学生が就職活動を終了させたことが分かります。しかし、弊社には10月以降も就職活動を継続している学生が数多く相談に来ています。

今回は、相談に来る学生と日々関わっている当社のアドバイザーに話を聞きながら、内定式以降にやってくる学生の傾向や今後の支援ポイントについてお伝えします。また、今回話を聞いたアドバイザーは、当社が実施するWeb面接会プログラムに参加する学生と関わるアドバイザーが中心です。そこで今回は、「学生は今、どんなことに困っているのか」「これまでの就職活動をどのように進めてきたのか」に加え、「学生はなぜ、当社のWeb面接会プログラムに参加しようと思ったのか」についても話を伺います。



――今、どんな学生が就職支援を受けに来ていますか？

「これから就職活動を始める」という学生が非常に多いです。もっとも、「これから始める」といっても、2通りの学生がいるかなと思っています。

1つ目は、毎年いらっしゃるのですが、公務員や教員からの切り替えの学生ですね。根がまじめな学生が多く、研修で就職活動について少しインプットすれば、すぐに就職決定していく学生が多い印象です。

2つ目は、春に就職活動をやっていた学生です。春夏に始めて、気持ちがついていなくて、お休みしてしまい、秋からまた就職活動を再開した、という声も多いです。つまづいた点としてよく聞くのが「グループ面接」です。学生からは、「グループ面接で思うように話せず、ストレスになった」「面接の場の、いつもと違う緊張感や、受け答えがうまくできず面接が通過しないことに対してトラウマを持っている」といった話を聞きます。

春夏の選考はライバルも多いですし、人気企業などを受けていると一筋縄ではいかないことも多いですから、そんな状況で、面接中にアタリの強い質問をされて、萎縮する気持ちや面接への恐怖心を持ってしまうようです。

もっとも、そうした学生も、「今、振り返ると、面接の準備が不足していた」と話すことがあります。

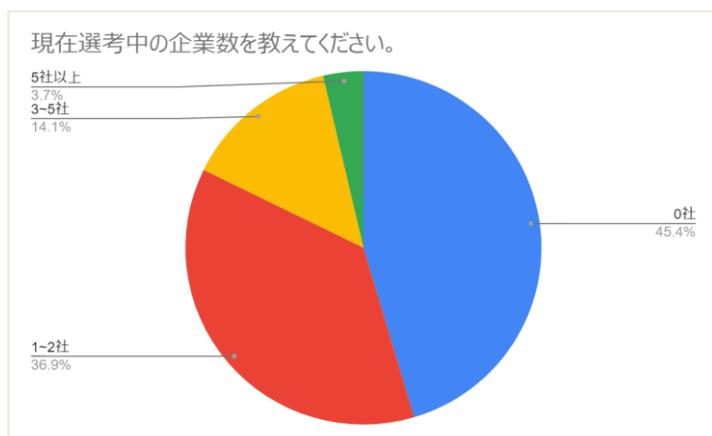
――なるほど。面接への耐性があまりないのはよく聞きますね。ちなみに、最近の学生は、あまり選考に行っていないと聞きますが、そのあたりはどうでしょうか？

たくさんの企業を受けてこられた学生もいらっしゃいます。ただ、私が「イマドキだな……」と感じるのは、一度に受ける企業の数ですね。大体、選考が進捗している企業は1～3社ほどで、その選考を受けきって、結果が出てから、次の選考を受ける、といった形で進める学生が多くいます。かなり手堅く就職活動を進める印象ですね。一度に何社受けるかは学生によって異なりますが、自分の中で「ここまで」という上限を持っている印象があります。

――確かに、ジェイックで行っている研修後のアンケートでも、選考中企業が2社以下の方が約8割もいるという結果が出ています（右グラフ）。先ほど、「選考中の企業は1～3社の学生が多い」と言っていましたが、そもそもエントリー数も少ないのですか？

エントリーをしている企業は10社程度ある人もいます。しかし、選考に進むのは1～3社程度といった状況です。当社の面接会でたくさんの企業とマッチングしても、学生自身が数を絞って選考に進まれることもしばしばあります。

「手堅く、的を定めて就職活動をする」というのが、イマドキの就活生の進め方なのかなと思っています。



――それで、うまく就職決定すればいいんですけどね……。先ほど、「春夏に就職活動をしていた学生が、お休みをして秋に再開する」という話がありましたが、具体的にどれくらいお休みしているのですか？また、学生にとって、就職活動を休むことのハードルは低いのでしょうか？「周囲に置いていかれてしまう」とか「企業が少なくなってしまうのでは」といったことは考えないのでしょうか？

春に就職活動をしていて、7月8月にお休みをして、9月になって就職活動を再開したという学生が多く来ます。休んでいた理由は、先ほども話したように、面接で心が折れてしまっている学生が多いです。中には、特に理由はない、といわれる方もいらっしゃいますね。

また、休むことへのハードルについて、休む学生の多くは「少し休んでも何とかなる」と思って休んでいます。イマドキの就活生は、普段の生活でもたくさんの選択肢の中で生きていますから、就職活動においても、漠然と「なんとかなる（方法はある）」と思っているのではないかと推測しています。お金の稼ぎ方ひとつとっても、「企業で働く」以外の選択肢が、今の世の中には当たり前にあります。また、Z世代の特徴として、「タイムパフォーマンス」の意識は、上の世代以上に高いです。就職活動が大事なことは分かっていますが、今、辛い就職活動が続けることと、大学生最後の夏休みを天秤にかけたときに、就職活動以上に、タイムパフォーマンス高く活動できることがあるのかもしれない。

――9月に就職活動を再開した学生は、どんな様子で就職支援を受けに来ていますか？

主に、次の3通りの学生がいます。「9月から就活スタート、何をしたらいいかわからない」「まだ間に合いますか？遅くはないですか？」「今からやるということに対して反省しつつ焦っている」の3つです。

また、多くの学生が、自分自身や面接に自信がない様子でいらっしゃいます。面接の経験がないから、自分に自信が持てず、面接に踏み切れない、、、そんなループのようです。

それで「面接対策をしたい」とか、「自信をもって面接を受けるために、自分に合った会社を知りたい」というような相談がよくあります。

――なるほど。自分に合った会社であれば、自信を持って話せるけど、自分に合っているかどうかわからない会社だと、抵抗感を感じやすくなっているのかもしれないですね。

あとは、「学生時代に何もやっていない（やれていない）から、自己PRに自信がない」という人も非常に多いです。バイトもサークルもやっていない人もいますし、学業といっても、オンライン授業がほとんどで、「何らかの活動をした」という感覚は薄いようです。

コロナ禍を理由に、やりたかった活動ができなくなった学生もいますし、コロナ禍以前から一定数存在した、“なかなか外に出てこない層”は、さらに外との関わりが少なくなってしまうと感じます。

――就職活動の初心者や自信がない学生がこれから求めているサポートや支援には、どんなものがありますか？また、どんなサポートを心がけるとよいのでしょうか。

研修後に実施しているアンケートでは、学びが特に大きかった内容として「自己PR」「面接での印象面」「逆質問」が多く挙げられます。研修では、自己PRを使って面接ロールプレイングを行い、フィードバックを受ける、という時間もありますので、自分の自己PRを客観的に見直すことができます。一人で就職活動をしていると、こうしたことはなかなかできないので、貴重な機会になっているようです。

なお、研修を担当する講師は、「就職活動初心者の中でも、自己PRを作れている学生とそうでない学生がいる」と話しており、個々の進行具合や準備度合いには差があると言えそうです。そして、“自己PRを作れていない学生”の中には、“研修に参加するのも奇跡に近い（それくらい動いていない）”という人も多くいます。そういった学生には、まずは「就職活動をしよう」という気持ちになったことを承認して、スモールステップでの支援をしていただくのが良いのではないかと思います。

研修で、特に学びが大きかったことを教えてください。（一部抜粋）

【自己PR】

自己PRを書くにあたって、自分の特徴を意識することができました。

自己PRを埋めることができたことと、実際にロールプレイングをしたことで本番に対する緊張が和らいだこと。

PRでのエピソードを一つに絞る点です。

自己PRの作成の仕方

自己PRなど、客観的な意見を聞いたことです。

【逆質問】

逆質問への明確な意図をつけて話すこと

逆質問で企業の枠に合わせたものを考えること

いつも面接の度に何を質問しようか迷っていたのでとても助かりました。

【面接での印象・ロープレ】

Web面接時の部屋の背景やカメラの角度

面接での表情

画面の明るさなど具体的な対策を教えていただいたので、勉強になりました。

面接のコツや良い印象の与え方

最初の印象でほぼ決まってしまうということで、これからの面接ではまず最初の印象に気をつけるという大事な学びを得ることができました。

面接対策について、声の音量や話し方など改善点がはっきり分かりました。

ペアワークでお互いをフィードバックをすることで、自分のことについても知れたし、相手を見て自分も気をつけようと思えたこと。

Web面接会事前研修アンケート結果からみる学生傾向

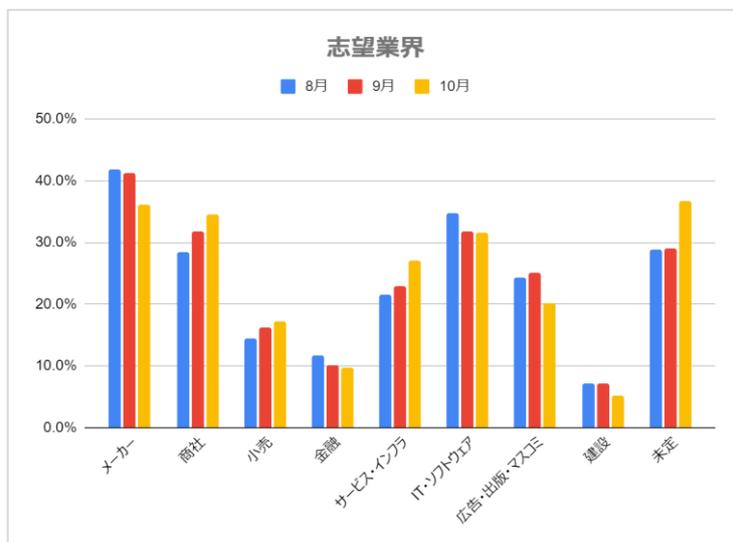
株式会社ジェイックでは、23卒学生向けの就職支援のプログラム内で、研修を実施しています。今回は、研修後に取得しているアンケート結果から、8月～10月に就職活動を行っている学生の傾向などをご紹介します。

(23卒_Web面接会事前研修アンケート 期間：2022年8月1日～2022年10月18日 回答数：575件)

対象：株式会社ジェイックで主催・運営する23卒向け研修に参加した学生

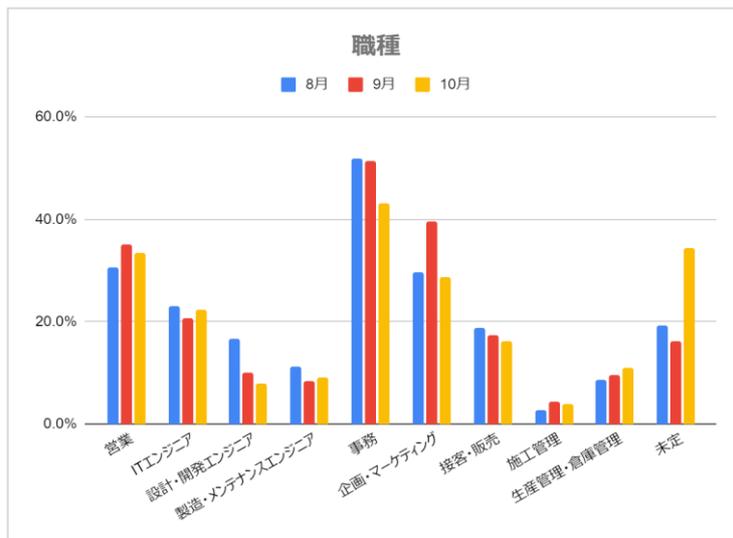
■志望業界（複数選択可）

「未定」の回答割合が、8月9月は横ばいでしたが、10月になると上がっています。また、建設業界は、採用活動後半に求人が増える傾向がありますが、志望する学生は10%未満となっており、求人数と志望する学生の数に大きな差がありそうです。



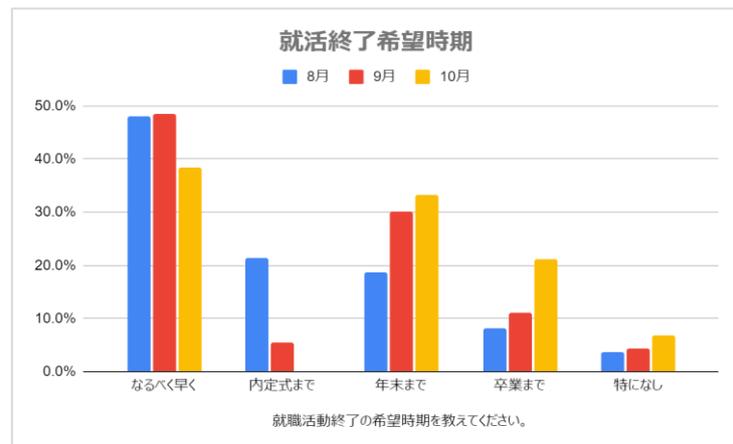
■職種（複数選択可）

事務職が圧倒的に人気ですが、10月になるとやや減っているのが分かります。また、約3人に1人は「未定」と回答しています。



■就活終了希望時期

10月に入り、「なるべく早く」と回答した人の割合が減っています。9月までは、内定式を一区切りとして就職活動をしていた人が多くいましたが、10月を越えると、「急いで就職活動をするよりも、終了時期を気にせずに企業を選びたい」という人が増えるのかもしれません。



■企業選びで重視しているポイント

(9月29日～10月18日の回答)

「職種（仕事内容）」が1位となりました。10月に入り、志望職種が「未定」と回答する人の割合が増えた背景には、「職種を絞らずに、改めて考え直して選びたい」という学生の気持ちがあるのかもしれません。

企業選びで重視しているポイント

順位	項目	Score
1	職種（仕事内容）	397
2	条件・福利厚生	273
3	業界（事業内容）	205
4	社風・企業理念	198

※1位～3位までをアンケートで回答。1位は3点、2位は2点、3位は1点としてスコアリングし、順位付け。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なご意見をお寄せください。右のQRコード、もしくはURLからご回答をお願いいたします。

現在、多くの大学様から、就職支援のご依頼を受けております。お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。最新情報や貴校に合わせた支援内容をご提供させていただきます。

運営会社(お問い合わせ先)：
株式会社ジェイック新卒カレッジ事業部
東京都千代田区神田神保町1-101神保町101ビル6階(受付)
TEL 03-5282-7603 ☎ daigaku@jaic-g.com

キャリアのミカタアンケート
<https://forms.gle/kT65FRVdsrj1FXgk8>

